



今月は、「高齢夫婦ともにフルマラソン完走」で、ギネスブック登録に挑戦している阿南さんご夫婦をご紹介します。

阿南 重継さん ミヨ子さん

波野の笹倉にお住まいの阿南重継さん（83歳）とミヨ子さん（78歳）のご夫婦は、1月13日、鹿児島県で開催の「第27回いぶすき菜の花マラソン大会」に夫婦そろって出場し完走することを目指しています。この年齢で夫婦そろってのフルマラソンの完走は世界でも記録がありません、特に80歳近い女性での完走は非常にまれです。しかし今回お二人がこの記録に挑みます。

健康づくりは歩くことから

重継さんが走り始めたのは47歳から。たまたま出場した地元の駅伝大会で好記録を出したことがきっかけです。

その時から勤務先の波野村役場まで片道6キロの往復を走ることに決め、雨の日も雪の日も欠かさず走り続けました。驚くのは妻ミヨ子さんで、同じ頃、農協に勤めていましたが、「健康に良いから歩いてごらん」とのご主人の勧めで徒歩での通勤を開始。農協までの往復12キロをミヨ子さんは退職までの約22年間歩いて通勤されました。そのせいかミヨ子さんも40代後半からマラソン大会などに時々出るようになり、

今やフルマラソンを完走するほどの実力の持ち主。今は勧めてくれたご主人にとっても感謝しているそうです。

ハーフマラソンで日本一



そのほか数々の大会で記録を収め、部屋中に賞状やメダルがたくさん飾られています。高齢で始めた長距離をこまめにするには並々ならぬ努力があったと思います。

重継さんは人徳もあり、現在、阿蘇市老人クラブ連合会の会長という大役も務めています。6千人を超える会員のまとめ役は、とても大変ですが、持ち前の体力と知識、人格で地域社会に大きく貢献されています。

1月13日、ぜひ、お二人そろってゴールしてほしいものです。

頑張れ阿南さん！



▲ マラソン大会出場に向け、練習で、産山を回る42キロの道を4~5日おきに走っているお二人



▲ 早朝からの練習の様子

重継さんは83歳と思えぬ鍛えられた身体と精神力をお持ちです。74歳の時、全国マスターズ陸上競技選手権大会でハーフマラソンを1時間33分で走り、見事、日本一になりました。